
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第67号(2019.7.8)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第67号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、生態系保全のため魚道の設置や冬水田んぼを行っている組織と、希少生物の保護活動や休耕田を利用した植栽活動に取り組んでいる組織を紹介します。

事務局からは、多面的機能支払交付金におけるドローンの活用事例、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の募集案内について紹介します。

--- 第67号の目次 ---

1. 活動組織の活動紹介

☆SK 農村環境保全会（栃木県 ^{うつのみや}宇都宮市）☆

☆ ^{ひがしたわら}東田原 地域保全管理組合（岐阜県 ^{せき}関市）☆

2. 技術情報

～多面的機能支払交付金におけるドローンの活用事例～

3. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」を募集中！

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～SK農村環境保全会(栃木県 宇都宮^{うつのみや}市)～ ■

～地区概要～

栃木県宇都宮市の北東部、鬼怒^{きぬ}川^{がわ}と西鬼

怒川の間の平坦地に位置する 下ヶ橋^{さげはし}・河原^{かわら}

地区を拠点に活動。

活動範囲は、田 145ha、畑 4ha、農道 20.9km、開水路 39.2km。

～主な取組～

- ◎本組織では、地域住民の希望を組織運営に反映させるため、地域の自治会と話し合いを重ね、それぞれの計画が連動するように工夫しています。
- ◎広範囲の農用地や水路を効率的に維持管理するために、法面等危険な箇所の草刈り作業は大型機械を利用し、それ以外の箇所を農業者・非農業者が連携して取り組んでいます。
- ◎また、生態系保全活動としてドジョウ等の田んぼへの放流、魚道や水路へのU字溝、玉石の設置等、生きものに優しい活動も活発に取り組んでいます。平成30年度までの生きもの調査で、123種 3,938匹の生きものを確認することができました。
- ◎さらに、「冬水田んぼ」にも取り組んでいます。水田の冬期湛水によって雑草の抑制や農薬使用量の減少が図られているのみならず、白鳥の飛来地となったことで、白鳥を見に地域内外の方が多く訪れるようになりました。
- ◎地域の自然環境や活動の様子をまとめた小冊子「ふるさとの自然」も組織で作成しており、好評を得ています。今後も、構成員や関係団体に配布し、活動への賛同者拡大に努めていきます。



生きものに優しい施設
(U字溝で魚の隠れ場)



生きもの調査



白鳥と冬水田んぼ(右)



小冊子「ふるさとの自然」

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～^{ひがしたわら}東田原^{せき}地域保全管理組合(岐阜県 関市)～ ■

～地区概要～

岐阜県関市の東部と^{みのかち}美濃加茂市との境に位置する耕作地帯を拠点に活動。

活動範囲は、田 38.2ha、畑 52.8ha、農道 7.5km、水路 21.1km。

～主な取組～

- ◎本組織では、農村環境の保全活動として、水の汚れに弱く、近年生息数が大幅に減少しているマツカサガイの保護活動に力を入れて取り組んでいます。多くの地域住民を巻き込んで活動を行うことで生態系の保全とともに取組への理解を広めています。
- ◎また、休耕田を利用し、ひまわりとコスモスの植栽活動を行っています。ひまわりが秋に開花するように種まきを行うことで、夏のイメージが強いひまわりと秋の花のコスモスが同時期に開花します。この珍しい光景は、SNS等で話題となるなど、県外からも注目を集めています。さらに、植栽を行った場所には、組織のPR看板を設置し、活動への理解等を深める工夫をしています。
- ◎さらに、組織の直営施工で行う水路等の施設補修では、土木工事等に経験のある人を中心としてその他の構成員と一緒に作業を実施することで、その技術力を継承できるよう努めています。
- ◎今後も、農村の持つ多面的機能を多くの人に知ってもらえるよう様々な工夫をしながら活動に取り組んでいきます。



マツカサガイの保護活動



休耕田への
ひまわりとコスモスの植栽



組織のPR看板

■2. 技術情報

～多面的機能支払交付金におけるドローンの活用事例～ ■

農林水産省では、ロボット、AI、IoT、ドローン等の先端技術を活用し、農業の生産性を飛躍的に高めるスマート農業を推進しています。

今回は、多面的機能支払交付金における組織などでのドローンの活用事例を紹介します。

【活動組織の現地視察】

○北海道 ^{かきい}河西郡 ^{なかきつないむら}中札内村 ^{みなみときわ}南常盤地区地域資源保全会

（畑 508 ha、水路 10.4km（うち排水路 1.1km）、農道 5.6km）

ドローンの活用目的：ドローンを用いて水路の点検・機能診断を行うため。

ドローンの活用方法：管理用道路がなく現地確認が困難な区間において、水路内の土砂の堆積状況や破損状況の確認のためにドローンを活用している。

ドローンは農業法人の役員をしている当保全会の構成員が保有しており、必要に応じて空撮を依頼している。

ドローンの活用効果：管理用道路がない水路の点検・機能診断活動においては、これまで複数の構成員で現地を踏査し確認してきたが、ドローンの活用により少人数での活動が可能となり、活動時間も大幅に削減され、構成員の負担軽減が図られている。

ドローンの活用状況：



ドローンによる点検・機能診断作業状況



人の手による撮影



ドローンによる撮影

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」を募集中！ ■

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、農山漁村の活性化に取り組む優良事例を選定・表彰し、全国に発信する取組で、これまで多面的機能支払の活動組織も選ばれています。

本年度の応募期間は、7月1日(月)～9月2日(月)で、10月に選定結果が発表され、選定された地区は11月頃に選定証授与等の式典に招待されます。昨年度総理官邸で行われた式典等の様子はこちらを御覧ください。

→ https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201811/22mura.html

本年度からは、団体向けの「コミュニティ部門」と「ビジネス部門」、新たに創設された「個人部門」の3つの部門で募集・選定を行うこととなり、環境保全や農村文化の伝承活動などの内容は「コミュニティ部門」と言えますので、多面的機能支払交付金の活動組織の皆様においては、奮って応募してはいかがでしょうか。団体向け部門と個人部門の重複応募も可能ですので、皆様の組織で中心的に活躍されている個人についてもあわせて応募してはいかがでしょうか。

▽応募期間▽

令和元年9月2日(月)まで

▽詳細・応募方法▽

「ディスカバー農山漁村の宝」や応募についての詳細はこちらを御覧ください。

→ <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/oubohouhou/>

【農林水産省 都市農村交流課】

■編集後記■

7月に入りましたが、まだまだ全国的に梅雨が続いています。じめじめとした梅雨も、作物にとっては恵みの雨となる季節ですね。

さて、私は先日佐賀県 ^{たけお}武雄市で5日間の研修を行いました。近年武雄市では、武雄温泉や民営化された図書館、樹齢約3,000年の大楠等を資源とした観光事業や、就労支援、子育て支援等に力を入れて取り組んでいます。また、市役所ホールでは、市民の方々がイベントを積極的に開催・参加しており、市主催のワークショップでは多くの方が参加し、武雄ブランドを広めるためのキャッチコピーが決定されました。

研修中の夜には、武雄市グルメの一つ、イノシシ肉のしゃぶしゃぶをいただきました。だしには、遊休農地で栽培されたレモングラスが使用されており、さっぱりとした風味がとても美味しかったです。

武雄市での研修を通して、市役所と市民・民間企業等が目標や意識を共有して取組を進めていくことの難しさやその重要性を再認識でき、5日間という短い時間でしたが貴重な経験となりました。



武雄温泉入り口にある楼門



武雄ブランドのロゴマーク



イノシシ肉のしゃぶしゃぶ

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力!

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：新谷、藤田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
